

上新庄チャンバチ遺跡

かみしんじょう

野々市市南部の有力者の墓を発見！



総長（周溝含む）22m、墳長 17m の前方後方墳

上新庄チャンバチ遺跡は、南に隣接する熱野遺跡（白山市）とともに、弥生時代のムラの跡として知られています。ところが平成29年度の調査では、古墳時代初頭（4世紀前半）の前方後方墳を発見することができました。

今までは、市内の古墳時代前期の古墳は、北部の御経塚シンデン古墳のみ確認しており、南部の富奥地区では後期の古墳である上林古墳（7世紀前半）しかみつかっていなかったことから、市南部の有力者層出現は北部よりも遅れると考えられてきました。そのため、市の北部と同時期の前方後方墳の発見は、富奥地区の歴史に一石を投じるものとなります。

主な時代	弥生・古墳時代
場所	新庄1丁目
調査年度	平成28・29年度

